

陳 情 文 書 表

令 6 陳 情 第 7 号	令 和 6 年 5 月 2 3 日 受 理
件 名	秦野市小・中学校給食費の無償化を求める陳情
陳 情 者	秦野市戸川 7 0 5 - 9 戸川テラスハウス 1 食の安全と、学校給食無償化を求める市民の会 代表 内藤 忠彦
陳 情 の 要 旨	
<p>現在、秦野市において、公立小・中学校の完全給食が実施されていることは、子どもたちの健やかな成長に大きく寄与しているものと評価されています。一方、給食費用は保護者負担が継続されておりますので、現在の保護者の収入が増えていないことに加え、物価上昇が著しい状況の中、子育て世代の家計には大きな負担となっております。このことは子どもたちの生活にも大きな影響を与えております。</p> <p>我が国は憲法第 2 6 条第 2 項により「(略) 義務教育は、これを無償とする」と規定されていますので、給食費も本来、国が負担すべきであることは承知しておりますが、現政権は「異次元の子育て予算を確保する」としながらも、様々な理由をつけていまだに実施しておりません。国がやらないのであれば地方自治体がまず実施し、国を動かすしかありません。そのような切羽詰まった情勢から、昨年 1 0 月時点で全国では 4 9 3 自治体が給食費の無償化に踏み切っております。神奈川県で無償化に踏み切ったのは、従来、箱根町・中井町・山北町・清川村の県央、県西地区の 4 か所でしたが、今年の 4 月からは南足柄市、厚木市の市部も実施しましたので、県央・県西地区において地域間の「教育費負担格差」が発生する状況になってしまいました。東京都に至っては今年 4 月から葛飾区が無償化宣言するのとほぼ同時期に、1 8 区が無償化に踏み切ったものです。どの自治体も財源のやりくりは大変なことと思いますが、もう給食費無償化の流れは止められないところに来ております。</p> <p>秦野市立小・中学校の給食費を無償化するには、年間約 6 億円が必要と聞き及んでいます。しかし、無償化すれば、保護者負担の軽減、また学校側の負担の軽減も見込まれます。なにより小学生一人が 1 年間に払う給食費は 4 7 , 3 0 0 円、中学 1 ・ 2 年生は 5 6 , 1 0 0 円、中学 3 年生は</p>	

49, 500円となっており、複数の子どもを育てている世帯の大きな負担となっています。

なんとか、秦野市も給食費の無償化を実施していただくため、昨年9月に「食の安全と、学校給食無償化を求める市民の会」を立ち上げ、署名活動に取り組みました。その結果、市民の方の反応は大きく、子育て世代にとどまらず幅広い世代の方が署名に協力していただき、5月18日時点で2,713筆に達しており、私たちに「頑張ってください」「秦野市も早く無償化にしてもらいたいわよ」と声をかけていただくことが多く、市民の方の切実感を身をもって感じております。

子どもへの投資は未来への投資であることは言うまでもありません。少子化への動きを遅らせ、また新規移住者を少しでも呼び込むために、秦野市においても「小・中学校給食費の無償化」に踏み切っていただきたく陳情いたします。

陳情事項

秦野市立小・中学校給食費の無償化の条例案を市議会で作成及び可決し、秦野市長並びに教育委員会教育長に令和6年度予算において実施するよう求めること。